

# 御槇小学校だより

校訓 **みがく まなぶ きたえる**  
 教育目標 **心豊かで たくましく生きる児童の育成**



2月号

令和7年2月20日

「冬来たりなば春遠からじ」という言葉があります。これは厳しい冬の後には必ず春が訪れるという自然の摂理を表しています。この言葉は、私たちに困難や試練を乗り越えた先にある明るい未来を信じる大切さを教えてくれます。2・3月は、厳しい寒さの中にも花の芽が膨らんでいくのが目に見えるように、進級や卒業が間近に迫り、それぞれの学びや活動の成果が見られる場面が増え、子供たちの実りを感じる時期です。それと同時に2・3月は、新年度に向けた前向きな気持ちと不安が混じり合う時期です。ぜひお家でゆっくり話を聞いてあげてください。学校でも、丁寧に見守りを続けるとともに、自信をもって次の学年に進むため、学習のまとめをしたり成長を振り返ったりしていきます。引き続き御理解・御協力をお願いします。

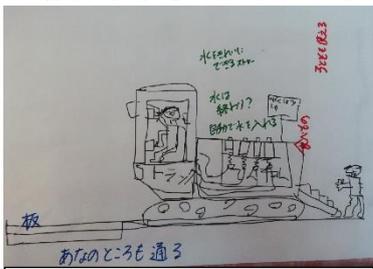
## 3月の行事予定

日	曜日	行事等	日	曜日	行事等
4	火	JTE来校 体育館工事（～14日）	18	火	分団会 JTE来校
5	水	委員会活動	19	水	安全点検 クラブ活動
6	木	身体計測 ALT来校	20	木	春分の日
7	金	遠足（足摺海洋館「SATOUMI」）弁当	21	金	給食最終日
11	火	6年生を送る会 PTA会計監査	24	月	卒業式
12	水	みまっきこホームワーク（～18日）	25	火	修了式
13	木	学期末懇談会 PTA総会	26	水	春休み（～4/7（月））
17	月	津島中学校卒業式	27	木	離任式

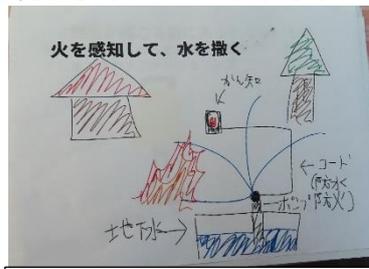
1/16

## 宇和島市防災事前復興教育プロジェクト

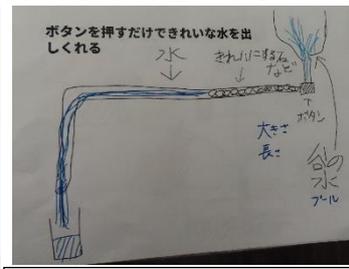
「事前復興」という言葉は、阪神・淡路大震災以降の防災計画づくりの中で生まれてきた考え方です。災害が起きたらどのように復興するのかを考え、準備しておくことで災害後の復興をスムーズに進めていくというものです。事前防災復興教育プロジェクトの最後の授業で「まちの大切なものを守る方法」について、各自で考えたアイデアを発表しました。よく考えられたアイデアで感心しました。



道路を直しながら、水を配布する自動車



火災を感知したら自動で飛び立ち、消化するドローン



川の水をくみ上げ、きれいな飲み水にする装置

地震がきても大丈夫なベッド

停電の時に街を明るく照らすラジオ付きランプ

汚れた水をきれいにする薬

トイレとお風呂付のテント 等

**防災グッズの確認を！と6年生がまとめました！**

1/21

## 校内マラソン大会 全力で走り切りました！

12月末から始めたマラソン練習。練習の成果を発揮しようと全員がよく頑張りました。途中でこけても歯を食いしばって完走した1年生！新記録を樹立した2年生！6年間走りぬいた6年生！本当によく頑張りました。地域の方の声援、保護者の皆様のお手伝いと応援、ありがとうございました。



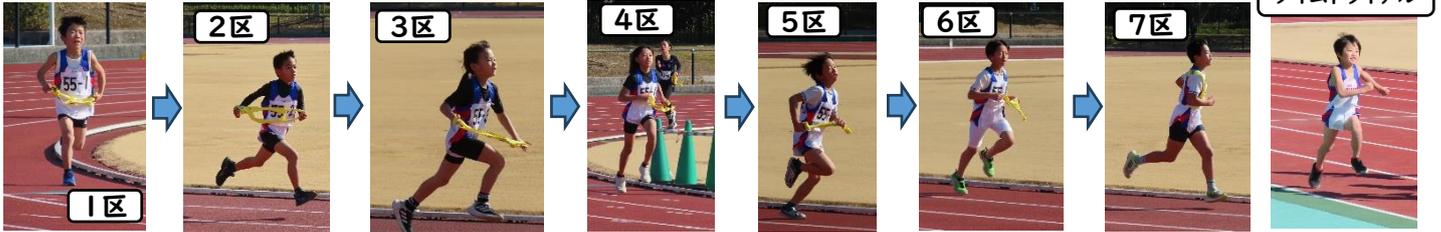
走り終わったみんなが、まだ走っている友達に必死で声援を届ける姿も、最高でした。マラソン大会当日の経験、マラソン大会当日を迎えるまでの練習の成果や心境が、これからの学習や運動、そして、日々の生活の仕方にきっと生きてきます。御槇っ子がまた一回り成長しました。



1 / 25

## 宇和島市交流駅伝競走大会 タスキがつながりました！

ガイスタジアムで宇和島市交流駅伝競走大会が開催されました。御槇小学校は1～6年生までの全校体制で参加しました。全校での参加は、御槇小学校だけです。タスキが最後までつながるかドキドキしました。最後の6年生がゴールした時の安心感と感動は忘れられません。全校児童で練習して、全校児童で走り切った御槇っ子が自慢です！



1 / 28

## 校区別人権・同和教育懇談会 子どもの権利条約について考えました！

宇和島市人権啓発課の矢野美保様をお招きし、演題「子どもと人権」で講演会を行いました。公民館長さんや地域の方々、多くの保護者の皆様と全校児童で、子どもの人権について考えました。絵本「ぼくがラーメンを食べるとき」の読み聞かせを通して、「世界の子どもの様子」を紹介していただきました。また、「子どもの権利条約」と結び付けて、「子どもの人権が守られていないとき」についてみんなで考えました。



2 / 5

## 新入児体験入学！給食試食会！2人の御入学をみんなで待っています！

来年度入学する2人を迎え、新入児体験入学を行いました。1・2年生が学校紹介を行ったり、「こおりおに」をして親睦を深めたり、読み聞かせ「だいじょうぶかな いちねんせい」を行ったりしました。御槇っ子のあたたかさや優しさがあふれる新入児体験入学となりました。新入児体験入学に続いて給食試食会を行いました。新入児と全校児童、教職員そして保護者が一堂に会して給食を楽しみました。子供たちが毎日食べている給食を実際に食べていただくいい機会となりました。



### 日野のつぶやき！

ある試合で、大谷選手が四球を選び1塁へ向かう時にグラウンドの芝生の上に落ちているゴミをサッと拾い、何事なかったかのように、おしりのポケットに入れる姿がアメリカでも話題になりました。実は、この行動の背景には、大谷選手の出身校である花巻東高校の野球部の佐々木監督の教えがあるといえます。「ゴミは、人が落とした運だ。ゴミを拾うことは運を拾うこと。ゴミを拾うことで自分自身にツキを呼ぶ。そんな考え方をしなさい。」佐々木監督のもと、高校1年生の大谷選手は、最終目標を「ドラフト1位で8球団から指名される」と設定しました。そのために必要な行動を洗い出し、毎日毎日、こつこつと具体的な行動としてトレーニングの中に、組み込み、取り組んできました。実際に大谷選手が、高校1年当時に書いた目標達成シートを見ると、「体づくり」「コントロール」「変化球」など一流のピッチャーが備えるべき能力を洗い出し、さらに細かく、トレーニングに結び付く具体的な行動が書き出されています。注目すべきは、「運」という項目が設定されていることです。大谷選手が「運」の項目に書き込んだ8つの具体的な行動を見ると、「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「あいさつ」「審判への態度」「本を読む」「応援される人間になる」「プラス思考」「道具を大切に使う」と書かれています。「運」というのは、自分ではコントロールできないものだと考えがちですが、大谷選手は、この「運」についても、自分の行動や態度によって引き寄せようと努力を続けてきたことが分かります。あるインタビューで、大谷選手は、こう答えています。「試合に勝つか負けるかの微妙なラインは『人間性』や『運』などの微妙なところで左右されるのではないかと思いますので、常にそういった部分をしっかりやっていたら、大事な場面になった時に思い切ってやれるのではないかと思います。」大谷選手のものの見方や考え方に触れ、私自身も大きな刺激を受けるとともに、御槇っ子も大谷選手の8つの具体的な行動を大切にしたいと思いました。運を味方に付けられる御槇っ子に！